

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所 あさてい（放課後デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	①保護者との信頼関係と丁寧な情報共有	連絡帳での細やかな報告に加え、アプリ等を活用した透明性の高い情報発信を継続している。	連絡帳の質をさらに高め、家庭での会話のきっかけとなるようなエピソード共有を強化する。
2	②お子様の意欲を引き出す支援環境	五感を刺激する多彩なプログラムを提供し、お子様が「楽しみ」と思える居場所づくりを徹底している。	個別支援計画に基づき、お子様一人ひとりの小さな変化や成長を見逃さない多角的な視点を養う。
3	③安心・安全な環境整備と衛生管理	構造化された環境設定により見通しを立てやすくし、職員一丸となった清掃・整理整頓を徹底している。	常に清潔で心地よく過ごせる環境を維持し、バリアフリー化や情報伝達の配慮をさらに追求する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	①防災・防犯訓練の実施と周知	マニュアルは策定済みだが、定期的な訓練の実施と保護者への周知が十分に行き届いていない。	年間の訓練計画を策定し、定期的にも実施。実施後は写真等を活用し保護者へ活動を報告する。
2	②地域交流および外部機関との連携	地域住民の招待や、他事業所・関係機関との積極的な交流機会が十分に確保できていない。	地域行事への参加検討や、学校・保育園等との情報共有をより密に行う体制を構築する。
3	③家族支援プログラムの提供機会	ペアレント・トレーニングや研修会など、家族の困りごとに寄り添う機会の提供が限定的である。	保護者のニーズを改めて調査し、専門性を活かした相談会や学習会の開催を検討・実施する。